



前小だより

ひたちなか市立前渡小学校
令和5年度学校だより
No.7 7月第2号
令和5年7月20日(木)

今を変えれば未来が変わる

『ホタル』 今年も 光り ました!!

いよいよ明日から夏休みです。全部で72日間の学校生活を通して、それぞれにお子様は成長しました。できることが増え、また、やりたいことも日毎に増えているようです。よりよい成長のために、今後とも御指導・御協力いただきたく、よろしくお願いします。

さて、早いもので「ほたるの森」が学校ビオトープ大賞を受賞してから1年の歳月が流れました。今年もそろそろホタルが光り始めるころで、夜の様子を確認しようと思っていたところ、学校に、あるものが届きました(7/6)。それは本校のほたるの森の施工事例を紹介する、2枚のA1サイズのパネルです。そこには着工当時の様子から最近の活動に至るまでが、分かりやすくまとめられています。これらのパネルは、毎年ビオトープフォーラムを主催している「日本ビオトープ協会」が、今年度の開催に向けて制作したものです。それを御寄贈いただきました。本当にありがたいことです。このパネルは昇降口付近に掲示します。

今年のホタルの棲息状況ですが、夜に初めて足を運んだのは7月11日のことです。日が暮れるのを待って足元に気をつけながら現地に出向きました。今年はホタルの生態を確認するために放流を見送る予定の年でしたが、2年生の強い希望と期待もあり実施しました。放流した日は昨年より二日早く、6月7日です。ただし、幼虫を自然へと解放した数は、昨年の四分の1程度としました。果たして今年は光るのかどうか、とても気になるどころでしたが、この日は出会えませんでした。

2回目に足を運んだのは7月18日(火)、新月の夜です。午後8時半を少し回ったころの時間でした。しばらくは見つかりません。次第に目が暗闇に慣れてくると、仄かな光を見つけることができました。一つ、また一つ…と、この日は全部で九つほどのあかりを目にすることができました。一年前よりもその光はほんの少しだけ大きく、薄緑がかかったような色に感じられました。

あえて今年はビオトープ学習会 並びに ホタルの鑑賞会を全御家庭へ周知しての実施とはしませんでしたので、もしよろしければ時間に都合のつくときに、お子様とともに足を運んでいただければと思います。



上の写真は、7月19日(火)の12時過ぎに撮影したものです。前日の夜8時半過ぎにホタルの光が確認された場所を○で示しています。7/18の夜は、ホタルの森の奥深くまでは行かず、一つめと二つめの沼の近くまで行って、周囲を確認しました。沼の周囲よりも、虎ロープの張ってあるさらに藪(西)側にホタルの光をいくつも確認することができました。とはいっても、粘り強く、しっかりと目を見開いて、少しだけ気長に観察しないと見つけられません。ホタルの光に気づくためには、足元に十分に気をつけながら降りてから、目が周囲の暗さに慣れるまでに時間をかけます。本当に微かな光です。光るかどうかは、何といても当日の天候、気象条件に左右されます。時間帯も大切だとのこと。満月の夜は明るいので、あまりよくないとのこと。雨模様の日も今一つようです。まだ飛びながら光る姿は見えていません。行かれる場合は必ず保護者様同伴で!!

七夕の願いごと

七夕週間ということで、6月の下旬ごろから毎日日替わりで、各学級から2名ずつ、各学年の8名が給食のひと時にそれぞれの思いを発表しました。

ここに紹介するのは、7月6日(木)、2年生の発表です。それぞれの願いを列挙すると、

- ・ヘラクレスオオカブトが欲しい
- ・側転ができるようになりたい
- ・自分のこと 自分のやりたいことを
一生懸命にやりたい
- ・学校で友達が千人できますように
- ・世界中が元気で優しくなりますように
- ・みんなを幸せにできる大人に
なれますように
- ・先生とみんなが優しくなりますように
- ・家族が元気に生活できますように

でした。身近なものからスケールの大きなものまで、様々な願いがありました。何にしても聴いていて、一人ひとりの気持ちが素直に表現されているので、とてもいいなと感じました。前渡小のみなさんは、他のお友達の願いごとを聴いて、何を感じたのでしょうか。すぐに叶いそうな願いや、とても時間のかかりそうなものなど様々ですが、夢がかなうように、理想に向かって、今、やるべきこと、やりたいこと、そしてできることに力を注ぎましょう。

◇ ほたるの森に来る際は足元に御注意ください。危ない場所にはコーン等の目印を置きましたが、地面に穴もあり、ぬかるみもあります。下まで降りるのに灯りは必要ですが、明るいとはホタルは光らない可能性が高くなるということです。



前小(裏)通信

生活の柱 : 時間と空間それから仲間、三つの『間(あいだ)』を大切に

Key Word : 間が大事 笑顔さわやか ワクワクと 宝は仲間 理想に向かって



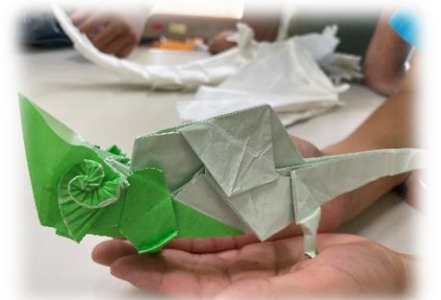
6年生

主に取り組んでいるのは、4組のこの2人です。左の男の子の白い龍は、障子紙94cm×94cmを作り、それを折ったものです。(320工程)

6年生の児童は、ソフトボール、野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、テニス、スイミング、卓球、空手、柔道、体操、陸上、ダンス、スイミング、クライミング、バレエ、ピアノなどの楽器、そろばん、プログラミングやお習字、そして英語など、たくさんの習い事や趣味を楽しんだり挑戦したりして頑張っています。

どの種目も紹介したいところですが、ここで一つ…、「折り紙」の紹介をします。6年生の中には独学で折り紙を極めていく児童達があります。この写真の中に写っている折り紙は、すべて1枚の紙でできおり、はさみなどの切込みは一切入れていません。「世界一難しい折り紙」の一つは、480もの工程があるそうです。480の工程があるということは、その倍の900回ほど折るということ…。作品は、どれも本当に圧巻です。

学校生活を頑張ることはもちろん、たくさんの方に目を向けて頑張る6年生を誇りに思います。もうすぐ夏休み、自分の好きなことをする時間ももちながら、充実した時間を過ごせますように。



このカメレオンの目にも御注目ください。渦巻も折ることで表現しています。



1年生

今回の1年生は、生活科の「おもしろいあそびがいっぱい」で水遊びをしているときの様子です。マヨネーズや食器用洗剤などの容器を用いて、水鉄砲や手作りの船を作って遊びました。それぞれにお気に入りのものができて、御満悦の様子です。



2年生

2年生はこの日トモロコシの皮むきを体験しました。写真はどちらにしようか迷いましたが、実においしそうに実をほおぼっているこの写真にしました。



3年生

3年生は理科の授業で、ゴムと風の力比べ?の実験をしている様子です。男の子は果たしてタブレットを使って何を研究しているのでしょうか?



4年生

浄水場では水をきれいにする方法を学び、施設も見学しました。脱水ケーキを触ったり、できたばかりの水を飲ませてもらったりしました。

クリーンセンターでは、大きなごみクレーンが実際に動いているところや、発電している様子を見学しました。また、ごみの分別クイズを行い、本当は資源物なのに自分たちが捨てている物があることに気付いて、驚いていました。



← 左の写真は七夕の願いを書き綴った児童たちです。この四人は果たしてどんな願いごとを短冊に書いたのでしょうか。

→ 右の写真は算数の授業の様子です。1㎡の立体の枠の中に入って、その大きさを体感しています。この感覚は身体の記憶として忘れずに残るのではないのでしょうか。

昔を思い出してみてもこんな体験をしたことはないのでは、一度は入ってみたいものです。



5年生